

令和6年度千葉市イノシシ対策のためのアンケート調査結果概要

調査用紙配布：2024 年 11 月 18 日 回収：2025 年 1 月 9 日
調査対象：農業組合（緑区及び若葉区の一部） 実施：千葉市農政センター農業生産振興課（調査受託業者 合同会社 AMAC）
調査用紙配布数 99 件、回答数 66 件（回答率 66.6%）
→この調査結果を踏まえ、本市のイノシシ対策を促進していきます。調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

結果

■ 出沒・被害の情報が寄せられている地域は緑区、若葉区の北東部が中心ですが、都川及び都川支川に沿って若葉区の南西部付近でイノシシの出沒がみられます（図 1）。若葉区は西部地域でも被害が発生しています。今年は中央区への出沒は見られませんが、引き続き警戒が必要です（図 2）。

■ 被害程度の設定では、被害が甚大化している回答（「大きい」及び「深刻」）が猿橋第二、荒久、能真坊、土気町、大木戸町、小山町など、若葉区の上泉町や小間子町、富田町などから得られました。若葉区西部の加曽利町、高品町などでも被害が見られます。鹿島川流域、佐倉市との境などでも被害が発生しています（図 2）。千葉市に隣接する、四街道市、佐倉市、八街市、大網白里市、市原市等からの流入も懸念されます。

